



よくある質問

この付録では、Cisco IPICS サーバとその各種コンポーネントに関連するよくある質問とその答えを示します。次の項で構成されています。

- [Cisco IPICS サーバと Administration Console \(P.5-2\)](#)
- [Cisco IPICS のライセンス \(P.5-5\)](#)
- [RMS コンポーネント \(P.5-7\)](#)
- [ロケーション \(P.5-9\)](#)
- [リソース \(P.5-10\)](#)
- [Cisco IPICS ポリシー エンジン \(P.5-11\)](#)
- [Push-to-Talk チャネル \(P.5-19\)](#)
- [無線通信 \(P.5-21\)](#)
- [VTG \(P.5-23\)](#)
- [ops ビュー \(P.5-25\)](#)
- [サービサビリティ \(P.5-27\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone \(P.5-27\)](#)

Cisco IPICS サーバと Administration Console

- Q.** Cisco IPICS Administration Console ブラウザ セッションのタイムアウト期間を指定することはできますか。
- A.** はい。 **Administration > Options** ウィンドウで **Cisco IPICS Session Timeout Period** の設定値を変更することにより、ブラウザセッションのタイムアウト期間を指定できます。デフォルトは 30 分です。使用できる値の範囲は 0 ～ 99999 です (0 は、ブラウザがタイムアウトしないことを示します)。

Cisco IPICS のオプションの詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「[Managing Cisco IPICS Options](#)」の項を参照してください。

- Q.** ポップアップ ブロッカー ソフトウェアを Cisco IPICS と共に使用できますか。
- A.** Cisco IPICS Administration Console では、機能によってはブラウザのポップアップ ウィンドウが使用されます。ブラウザ ポップアップ ブロッカー ソフトウェアがマシンにインストールされていると、特定のアクションを実行できない場合があります。Cisco IPICS での管理タスクの実行がブロックされないようにするには、Administration Console を使用する前に、マシンにインストールされているポップアップ ブロッカーをすべて無効にします。
- Q.** Cisco IPICS Administration Console のウィンドウは、自動的に更新されますか。
- A.** いいえ。ベスト プラクティスとして、ブラウザ ウィンドウの更新を、頻繁に、およびサーバ管理機能の実行前に行うことをお勧めします。これにより、最新の情報に基づいて作業していることが保証されます。最新のデータが表示されていないウィンドウで管理用の更新を実行すると、更新が失敗し、Cisco IPICS がエラーを表示します。このような場合は、ブラウザ ウィンドウを更新して再試行できます。

- Q.** ブラウザ ウィンドウを更新するには、どうすればよいですか。
- A.** 現在のウィンドウに最新の情報が表示されるようにするには、ウィンドウを表示するときに使用したボタンまたはタブをクリックして、ウィンドウをリフレッシュします。Administration Console の一部のウィンドウでは、Refresh ボタンが用意されています。このボタンを使用して、ウィンドウをリフレッシュ（更新）できます。



(注) Cisco IPICS では、Administration Console でウィンドウをリフレッシュするときにブラウザの Refresh ボタンを使用することはサポートされていません。

- Q.** Administration Console のグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) で、アスタリスク (*) は何を表しますか。
- A.** GUI のアスタリスクは、必須フィールドを示します。
- Q.** Cisco IPICS のロールは何を定義し、だれに割り当てられますか。
- A.** 各 Cisco IPICS ユーザに、1 つ以上のロールが割り当てられます。ロールは、ユーザがアクセスできる Cisco IPICS 機能、およびユーザが実行できる機能を定義します。次のリストは、Cisco IPICS で使用できるロールについて説明しています。
- User (ユーザ) : 自分の情報の管理、PMC クライアント アプリケーションのダウンロード、オーディオ デバイスの設定に使用される通信プリファレンスの指定、ポリシーのアクティブ化、および関連付けられているポリシーの表示を行うことができます。



(注) 各シスコ ユーザには、User (ユーザ) ロールが割り当てられますが、さらに別のロールも割り当てられることがあります。

- **System Administrator** (システム管理者) : サーバ、ルータ、マルチキャストアドレス、ロケーション、PTT チャネルなどの Cisco IPICS リソースのインストールと設定を担当します。また、ops ビューの作成、編集、削除、Cisco IPICS ライセンスおよび PMC バージョンの管理、ダイヤルエンジンに関連するアクティビティの実行、ポリシーのアクティブ化、特定のポリシーの表示を行うこともできます。アクティビティ ログファイルおよびダッシュボードから、システムとそのユーザのステータスを監視することもできます。
- **Ops View Administrator** (ops ビュー管理者) : ops ビューがフィルタリングしたアクティビティ ログを管理および監視できます。このログには、Administration Console の Activity Log Management ウィンドウ (Administration > Activity Log Management) でアクセスできます。
- **Operator** (オペレータ) : ユーザおよびユーザ グループの設定と管理、Cisco IPICS および PMC へのアクセス権の付与、ユーザのチャネル、ロール、および ops ビューの割り当て、ポリシーの作成と管理を担当します。
- **Dispatcher** (ディスパッチャ) : 非アクティブな VTG のセットアップ、会議を開始するための VTG のアクティブ化、非アクティブな VTG およびアクティブな VTG に対する参加者の追加または削除を担当します。ポリシーを作成および管理します。また、アクティブな VTG およびイベントを監視し、必要に応じて PMC ユーザを消音または消音解除できません。
- **All** (すべて) : これ以外のすべての Cisco IPICS ロールが割り当てられていることと同じです。

Q. データベースのバックアップは、いつ実行すべきですか。

A. 最適なパフォーマンスを得るため、アクティビティが少ない時間や他のオフピーク時に、データベースをバックアップすることをお勧めします。アクティビティが多い時間にバックアップを実行すると、その動作の完了までにかかる時間が大幅に長くなる可能性があります。詳細については、[P.4-9](#) の「Cisco IPICS データベースの管理」、または『Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)』の「Backing up the Cisco IPICS Server Database」を参照してください。

- Q.** あるサーバから別のサーバにデータを復元できますか。
- A.** 両方のサーバが同じバージョンの Cisco IPICS ソフトウェアを実行している場合に限り、あるサーバから別のサーバにデータを復元できます。2つのサーバのソフトウェアバージョンが異なる場合は、データベーススキーマが同じでない可能性があります。したがって、復元操作が失敗したり、Administration Console でタスクを実行すると予測できないエラーが発生したりすることがあります。詳細については、P.4-9 の「Cisco IPICS データベースの管理」、または『Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)』の「Restoring Data from a Database Backup」を参照してください。

Cisco IPICS のライセンス

- Q.** Cisco IPICS Release 2.1(1) では、ライセンス ポートおよび DS0 ループバックポート リソースがどのようにカウントされますか。
- A.** Cisco IPICS ソリューションを使用するには、まず 1 つ以上のライセンスをアップロードしてインストールする必要があります。Cisco IPICS は、次のライセンスをサポートしています。

- LMR ポート ライセンス : PTT チャネルが有効になる場合、Cisco IPICS はこのライセンスを使用します。

1つの無線チャネルが有効になる場合も、Cisco IPICS は1つの LMR ライセンスを使用します。ただし、その無線内に設定される後続の無線チャネルは、個別のライセンスを使用しません。Cisco IPICS は、有効な無線チャネルごとに1つの LMR ライセンスだけを使用します。

- マルチキャスト ポート ライセンス : 1つの VTG がアクティブになる場合、Cisco IPICS は1つのマルチキャスト ポート ライセンスを使用します。
- PMC ユーザ ライセンス : PMC ユーザがシステムにログインするたびに、Cisco IPICS は1つの PMC ライセンスを使用します。PMC ユーザが複数回ログインする場合、チャネルが有効になると、Cisco IPICS はライセンスを使用します。
- Cisco Unified IP Phone ユーザ ライセンス : Cisco Unified IP Phone ユーザ (PMC xml クライアント) がシステムにログインするたびに、Cisco IPICS は1つの Cisco Unified IP Phone ライセンスを使用します。

- **ダイヤルユーザライセンス** : Cisco IPICS は、次の各シナリオで1つの PSTN (ダイヤルユーザ) ライセンスを使用します。
 - Cisco IPICS は、1つのアクティブな着信コールに対して1つのライセンスを使用します。
 - Cisco IPICS は、1つのアクティブな発信コールに対して1つのライセンスを使用します。

Cisco IPICS は、次のシナリオで1つの DS0 ループバック ペアを使用します。

- PMC 上のリモート チャンネルごと
- アクティブな VTG 内のチャンネルごと
- VTG に接続されているユーザ数に関係なく、ダイヤルイン ユーザまたはダイヤルアウト ユーザがアクセスするアクティブな VTG のインスタンスごと
- **ops ビュー ライセンス** : Cisco IPICS は、設定される ops ビューごとに1つの ops ビュー ライセンスを使用します。
- **Cisco IPICS ベース サーバ ライセンス** : Cisco IPICS ベース サーバ ライセンスは、**Administration > License Management** ウィンドウに有効または無効と表示され、ライセンスがアクティブであるかどうかが表示されます。
- **ポリシー エンジン ベース ライセンス** : ポリシー エンジン ベース ライセンスは、**Administration > License Management** ウィンドウに有効または無効と表示され、ポリシー エンジンがアクティブであるかどうかが表示されます。



(注) Cisco IPICS は、Release 2.1(1) での Release 2.0(x) ライセンスの使用をサポートしています。

- Q.** VTG が突然アクティブまたは非アクティブになるのはなぜですか。
- A.** VTG が不意にアクティブまたは非アクティブになる場合、そのステータス変更の原因はポリシーである可能性があります。ポリシーが実行されて、VTG の状態が強制的に変更された可能性があります。突然のステータス変更を避けるには、Cisco IPICS に十分なライセンスがあることを確認してください。

RMS コンポーネント

- Q.** Cisco IPICS では、複数の Cisco IPICS サーバが同じ RMS を使用できますか。
- A.** いいえ。Cisco IPICS は、複数の Cisco IPICS サーバが同じ RMS を使用することをサポートしていません。各サーバは、正常に機能するために、対応する RMS 上のリソースを使用する必要があります。
- Q.** Cisco IPICS は、同じロケーションの複数の RMS をサポートしていますか。
- A.** はい。Cisco IPICS では、同じロケーションに複数の RMS を設定できます。
- Q.** サーバに複数の RMS コンポーネントを設定する場合、すべての RMS コンポーネントを同様に設定する必要がありますか。
- A.** サーバに複数の RMS コンポーネントを設定する場合は、必ず、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の付録「Configuring the Cisco IPICS RMS Component」に記載されている手順に従って、各 RMS を設定してください。Cisco IPICS は、このマニュアルの説明に従って設定されている RMS コンポーネントだけをサポートすることに注意してください。
- Q.** RMS ルータを T1 接続または E1 接続用に設定するには、どうすればよいですか。
- A.** RMS ルータを T1 接続または E1 接続用に設定する場合、RMS の正常な動作を保証するために従う必要のある特定のガイドラインがあります。詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の付録「Configuring the Cisco IPICS RMS Component」を参照してください。

- Q.** タイムスロット 24 (T1 コントローラ用) およびタイムスロット 31 (E1 コントローラ用) を必ず設定する必要がありますか。
- A.** はい。フラクショナル T1 コントローラまたはフラクショナル E1 コントローラを使用する場合でも、タイムスロット 24 (T1 コントローラ用) およびタイムスロット 31 (E1 コントローラ用) を必ず設定する必要があります。通常、T1 コントローラは 24 個の ds0 をサポートし、E1 コントローラは 30 個の ds0 をサポートします。ただし、Digital Signal Processor (DSP; デジタルシグナルプロセッサ) の数によっては、ご使用のコントローラがサポートする ds0 の数がそれより少ないこともあります。詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「DS0 Group-to-Timeslot Mapping Guidelines」を参照してください。

- Q.** RMS の IP アドレスを選択するには、どうすればよいですか。

- A.** RMS の IP アドレスを選択する場合は、Cisco IPICS コンポーネントとの正常な相互運用性を保証するために、従う必要のある特定のガイドライン、および設定する必要があるインターフェイスがあります。RMS の設定の詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の付録「Configuring the Cisco IPICS RMS Component」を参照してください。

- Q.** インターフェイスに設定する IP アドレスは、ルーティング可能である必要がありますか。

- A.** はい。Loopback0 と Vif の両方のインターフェイスに設定する IP アドレスは、ルーティング可能である必要があります。この要件は、これら両方のインターフェイスから Cisco IPICS を正常に操作するために必要です。

これらのインターフェイスのいずれかの IP アドレスがルーティング可能でない場合は、PMC PTT ボタンを押してから、リモート PMC とマルチキャストチャンネル間でメディアが確立するまで、さまざまな長さの遅延が断続的に発生することがあります。この遅延が発生するのは、RMS がマルチキャスト Real-time Transport Protocol (RTP) パケットの送信元アドレスに対する Reverse Path Forwarding (RPF) チェックを実行できない場合です。したがって、この問題を避けるには、Loopback0 と Vif の両方のインターフェイスの IP アドレスがルーティング可能にします。詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の付録「Configuring the Cisco IPICS RMS Component」を参照してください。

- Q.** RMS に着信ダイヤル ピアを設定するには、どうすればよいですか。
- A.** RMS に着信ダイヤル ピアを設定する場合は、特定の値を入力する必要があります。Cisco IOS は設定の一部のフィールドで他の値をサポートしていますが、一貫性を確保するために、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の付録「Configuring the Cisco IPICS RMS Component」に記載されているとおりに値を設定することをお勧めします。
- Q.** サーバに複数の RMS コンポーネントが設定されている場合、直接ダイヤル機能用の SIP 接続をセットアップするには、どうすればよいですか。
- A.** サーバに複数の RMS コンポーネントが設定されている場合は、RMS ごとに、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の付録「Configuring the Cisco IPICS RMS Component」のステップ 19 とステップ 20 に記載されている直接ダイヤル設定を行ってください。サーバに複数の RMS コンポーネントが設定されている場合、Cisco IPICS は、負荷の状況に応じて、これらの設定済みコンポーネントのいずれかを使用し、直接ダイヤル機能用の SIP 接続をセットアップできます。

ロケーション

- Q.** 一部のチャンネルがリモートとして指定されるのはなぜですか。
- A.** チャンネルが、そのチャンネルにアクセスしているユーザと異なるマルチキャスト ドメインに存在する場合、そのチャンネルはリモートとして指定されます。この場合、チャンネルは、RMS のリソースを使用して、Cisco IPICS サーバへの SIP ベースの接続を作成します。
- Q.** PMC ロケーションで、リモート指定は何を意味しますか。
- A.** リモート ロケーションは、PMC ユーザだけが使用できます。PMC ユーザが Location ドロップダウン リスト ボックスから **REMOTE** を選択すると、そのユーザに割り当てられているチャンネルまたは VTG ごとに、SIP ベースのユニキャスト接続を介して適切な RMS との接続が確立されます。ロケーションの詳細については、P.2-6 の「ロケーションの概要」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Managing Locations」の項を参照してください。

- Q.** ロケーションに1つのルータしかなく、チャンネルが ALL と定義されている場合、ユーザはそのチャンネルにアクセスできますか。
- A.** はい。ただし、ルータのロケーションが ALL と定義されている場合、そのルータがサポートしているユーザまたは VTG は、ALL と設定されていないチャンネルにアクセスできません。

ALL ロケーションは、マルチキャスト アドレスの範囲または到達可能性を定義します。そのため、ALL ロケーションは、(マルチキャスト アドレスに関連付けられる) チャンネルおよび VTG に適用できますが、(マルチキャスト アドレスに関連付けられない) IP Phone および RMS コンポーネントには適用できません。ロケーションの詳細については、P.2-6 の「ロケーションの概要」、または『Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)』の「Managing Locations」の項を参照してください。

リソース

- Q.** Cisco IPICS では、いくつのリソース（音声ポート、マルチキャスト アドレス）が必要ですか。
- A.** リソースの使用には、次のガイドラインが適用されます。
- VTG 内でアクティブな各チャンネルは、1つの DS0 ペア（ループバックとも呼ばれる）を使用します。
 - VTG 内の各サブ VTG は、1つの DS0 ペアを使用します。
 - 各 SIP 接続は、ロケーションごと、ユーザごとのチャンネルまたは VTG ごとに1つの DS0 ペアを使用します。
 - ローカル チャンネルは、DS0 ペアを使用しません。
 - G.729（SIP 接続に使用される）には、DSP リソースが必要です。
 - ダイヤル接続は、最初のダイヤル ユーザに対して2つの DS0 ペア（2つのマルチキャスト アドレス用）を使用し、その後のダイヤル ユーザごとに1つの DS0 を使用します。

次のリソースは、音声リソースを使用しません。

- チャンネルに関連付けられているユーザ（システムは、ユーザがリモートロケーションからログインする場合にだけ、リソースを使用します）
- ユーザだけを含む VTG
- ユーザ グループ

- チャネルグループ

Cisco IPICS ポリシー エンジン

Q. テレフォニー ユーザ インターフェイス (TUI) にアクセスするには、どうすればよいですか。

A. TUI には、プッシュホン電話機からアクセスできます。次の方法で、プッシュホン電話機から TUI にアクセスできます。

- ポリシー エンジン呼び出す：ops ビューの Dial Number フィールドに設定されている番号を呼び出します。関連情報については、[P.2-9](#) の「ops ビューの概要」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Configuring and Managing Cisco IPICS Operational Views」を参照してください。
- ポリシー エンジンからコールを受信する：コールを受信するのは、別のユーザからグループに参加するよう招待された場合、Cisco IPICS ディスパッチャが VTG Management ウィンドウからダイヤルアウトを開始した場合、呼び出し用の 1 つ以上のアクションを含むポリシーが実行された場合、またはプロンプトを録音する場合です。

Q. TUI を使用する場合に従う必要のあるガイドラインはありますか。

A. TUI を使用する場合に注意する必要がある複数のガイドラインがあります。次のリストに、それらのガイドラインのいくつかを示します。

- TUI にダイヤルインした後、ユーザ ID と PIN (パスワード) を入力するように求められます。システムを引き続き使用する前に、認証を受ける必要があります。
- 認証を受けた後、グループへの参加、ポリシーの呼び出し、システムメニューへのアクセスなど、使用可能なメニュー オプションが通知されます。
- あらかじめ定義されている許容期間内に応答しないと、メニューがタイムアウトします。ほとんどの場合、この期間は 3 秒で、最大再試行制限 3 回を含みます。許容期間を超えると、TUI は「Are you still there?」と応答し、メニューを繰り返します。最大再試行制限を超えると、TUI はコールが切断されることを通知する警告プロンプトで応答してから、コールを終了します。

- ダイアルアウトしてユーザをコールに招待する場合、呼び出されたユーザは、コールがグループに接続される前に、任意のキーを押して認証を受ける必要があります（コールがダイアルアウトされているときに、システムはサウンドを再生しません）。
- 電話機が TUI に接続されている場合、電話機では転送機能も会議機能もサポートされません。
- TUI のメインメニューから、次のアクションを実行できます。
 - グループに参加するには、1 を押します。次に、1 を押し、グループ名をスペルで入力することにより、参加する割り当て済みグループを選択できます。または2 を押して、割り当て済みグループのリストを聞いた後、そのリストから選択できます（参加するグループの名前が分かっている場合は、名前を入力するほうが、使用可能なグループのリストが TUI によって通知されるまで待つよりも迅速です）。選択内容を確定するには、1 を押します。選択内容を取り消すには、2 を押します。前のメニューに戻るには、* を押します。
 - 汎用ポリシーを呼び出すには、2 を押します。次に、1 を押し、ポリシーの名前をスペルで入力することにより、ポリシーを選択できます。または、2 を押して、使用可能なポリシーのリストを聞くことができます（呼び出すポリシーの名前が分かっている場合は、名前を入力するほうが、使用可能なポリシーのリストが TUI によって通知されるまで待つよりも迅速です）。選択内容を確定するには、1 を押します。選択内容を取り消すには、2 を押します。前のメニューに戻るには、* を押します。

詳細について、および TUI のガイドラインの完全なリストについては、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Using the Cisco IPICS Policy Engine」を参照してください。

- Q.** 内部のユーザが Cisco IPICS ダイアル エンジンのテレフォニー ユーザ インターフェイス (TUI) にダイアルすることはできますか。
- A.** はい。ネットワークに SIP プロバイダーが設定されている限り、内部のユーザはダイアル エンジンの TUI にダイアルできます。

Cisco IPICS ポリシー エンジンでは、ダイアルイン、ダイアルアウト、または PMC 直接ダイアル機能を使用するために、ネットワークに SIP プロバイダーが設定されている必要があります。SIP プロバイダーは、ポリシー エンジンへのコールおよびポリシー エンジンからのコールを処理します。

『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Configuring the SIP Provider」の説明に従って、Cisco Unified Communications Manager、またはサポートされているバージョンの Cisco IOS を実行しているシスコ ルータを SIP プロバイダーとして使用し、必要な設定情報を入力する必要があります。

Cisco IPICS でサポートされている、互換性のあるハードウェアおよびソフトウェアのバージョンについては、『*Cisco IPICS Compatibility Matrix*』を参照してください。

SIP プロバイダーが Cisco Unified Communications Manager である場合は、SIP トランクのルート パターンを設定する必要があります。

SIP プロバイダーがサポート対象 Cisco IOS ゲートウェイである場合は、コールを Cisco IPICS にルーティングするダイヤル ピアを設定する必要があります。



(注) ダイヤルインアクセスを可能にするために使用するダイヤル番号 (DN) は、ops ビュー (通常は、System ops ビュー) に割り当てられる必要があります。詳細については、P.2-9 の「ops ビューの概要」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Performing Ops View Tasks」を参照してください。

- Q.** ダイヤル エンジン は、どのコーデックをサポートしていますか。
- A.** ダイヤル エンジン は、G.711 u-law だけをサポートしています。詳細については、P.3-11 の「Cisco IPICS ポリシー エンジンの管理と使用」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Configuring and Managing the Cisco IPICS Policy Engine」を参照してください。
- Q.** ポリシーに関連するアクションとは何ですか。
- A.** アクションとは、ポリシーの実行時にポリシーが実行するアクティビティです。ポリシーで使用できるアクションは、ポリシーのタイプによって異なります。アクションには、次のリストで説明するアクティビティがあります。

- **Invite to VTG (VTG への招待)** : このアクションは、招待ポリシー タイプであり、TUI プロンプトに応答することで、指定されたユーザを呼び出して VTG に参加するよう招待します。このアクションは、既存の VTG からブレイクアウトするときに、TUI からのみアクティブにすることができます。
- **Activate VTG (VTG のアクティブ化)** : このアクションは、多目的ポリシー タイプであり、指定された事前設定 VTG をアクティブにします。
- **Notification (通知)** : このアクションは、多目的ポリシー タイプであり、指定された通知指示に従って、指定された受信者に連絡します。
- **VTG Add Participants (VTG 参加者追加)** : このアクションは、多目的ポリシー タイプであり、指定された参加者を指定された VTG に追加します。
- **Dial Out (ダイヤルアウト)** : このアクションは、多目的ポリシー タイプであり、指定されたユーザを、そのユーザに設定されているダイヤルプリファレンスに従って呼び出し、指定された VTG に参加するよう招待します。

ポリシー アクションの詳細については、P.3-11 の「Cisco IPICS ポリシー エンジンの管理と使用」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Managing Actions for a Policy」を参照してください。

- Q.** Cisco IPICS のポリシー通知機能では、どのようなタイプの通知アクションを使用できますか。
- A.** Cisco IPICS のポリシー通知機能には、次の通知アクション タイプが含まれています。
- **電子メール通知** : このタイプの通知では、受信者として指定した各ユーザの通信プリファレンスに設定されている電子メール アドレス、short message service (SMS; ショート メッセージ サービス) アドレス、およびポケットベル アドレスに、入力したメッセージが送信されます。
 - **IP Phone 通知** : このタイプの通知では、サポートされている Cisco Unified IP Phone 上に、指定したメッセージが表示されます。
 - **ダイヤル通知** : このタイプの通知では、指定したユーザが呼び出され、選択したプロンプトが再生されます。または、指定したユーザの Cisco Unified IP Phone にメッセージが送信され、電話機のスピーカで自動的に再生されます。
 - **トーク グループ通知** : このタイプの通知では、選択したプロンプトが VTG 内のすべてのユーザに再生されます。

- Q.** 新しいポリシー通知アクションを設定する場合、どのようなタイプのメッセージを送信できますか。
- A.** ポリシー通知アクションには、次のメッセージ オプションが含まれていません。

- **Email** : この通知オプションでは、受信者として指定した各ユーザの通信プリファレンスに設定されている電子メール アドレス、SMS アドレス、およびポケットベル アドレスに、入力したメッセージが送信されます。
- **IP Phone Text** : この通知オプションでは、サポートされている Cisco Unified IP Phone モデル上に、指定したメッセージが表示されます。各電話機の電話番号が、関連付けられているユーザのダイヤルプリファレンスとして設定されている必要があります。
- **Dial** : ポリシー エンジンによって、次のようにダイヤル通知アクションが実行されます。
 - SIP Configuration メニューで Cisco Unified Communications Manager Configuration for IP Phone Notifications のパラメータが設定されている場合、指定した各ユーザが Cisco Unified Communications Manager の設定で Cisco Unified IP Phone に関連付けられているかどうかを確認されます。ユーザが電話機に関連付けられている場合、指定したメッセージがその電話機のスピーカで再生されます。
 - Cisco Unified Communications Manager Configuration for IP Phone Notifications のパラメータが設定されているが、ユーザに Cisco Unified IP Phone が関連付けられていない場合、またはユーザの電話機が話中の場合、ユーザの通信プリファレンスに指定されているとおりにユーザが呼び出され、指定したメッセージが再生されます。
 - Cisco Unified Communications Manager Configuration for IP Phone Notifications のパラメータが設定されていない場合、ユーザのダイヤルプリファレンスに指定されているとおりにユーザが呼び出され、指定したメッセージが再生されます。
- **Talk Group** : この通知オプションでは、選択したプロンプトが、選択した VTG 内のすべての参加者に再生されます。
- **Dial Engine Script** : この通知オプションでは、指定した受信者ごとに 1 回、指定したダイヤル エンジン スクリプトが実行されます。

通知アクションの詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Using the Cisco IPICS Policy Engine」を参照してください。

- Q.** 電子メール、SMS、またはポケットベルという形式の通知アクション、および多数のユーザへのダイヤル通知の場合、通知イベントの順序はどのようになりますか。
- A.** ダイヤル エンジンには、ユーザへのダイヤルアウトに、スケーラブルなマルチスレッドダイヤル プール実装を使用します。現在実行されているポリシー通知 / 招待アクションによって、使用可能なダイヤル プール内のポートが使用されます。使用可能なダイヤル ポート数が必要数よりも少ない場合は、より多くのポートが使用可能になるまで、他のポリシー アクションは待機状態になります。

コールの受信者が認証されると、コールは成功したとみなされます。認証されない場合、システムは、コールが成功するか、またはすべての番号を試行するまで、ユーザ プロファイルでユーザの **Communications Preferences** タブに指定されている次のダイヤル プリファレンスに移動します。詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「**Allocating Dial Ports for the Dial-In/Invite and Notification Features**」の項および「**Managing Communications Preferences for a User**」の項を参照してください。

- Q.** ディスパッチャは、VTG の参加者に通知を送信する場合に特定の通知情報を入力できますか。
- A.** はい。Cisco IPICS には、ディスパッチャが **VTG Management > Virtual Talk Groups** ウィンドウから VTG の参加者に通知を送信する場合に、特定の件名と本文を入力できる機能が備わっています。詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「**Notifying and Dialing Out to Participants, and Setting PMC Attributes in an Active VTG**」の項を参照してください。
- Q.** Cisco IPICS にユーザとして設定されていない受信者に、通知アクションを送信できますか。
- A.** はい。Cisco IPICS ポリシー エンジンには、外部通知アクションが用意されています。このアクションでは、Cisco IPICS ユーザとして設定されていない受信者を指定して、その受信者に通知アクションを送信し、指定した情報を提供できます。

外部通知機能は、Cisco IPICS Administration Console では設定できません。その代わりに、1つ以上の専用のダイヤル エンジンを設定し、受信者のリストを指定して、受信者に再生するメッセージ ファイルを指定します。

Cisco IPICS サーバをプライマリ ダイヤル エンジンとして設定するには、そのサーバ上の .xml 設定ファイルを編集し、各専用ダイヤル エンジン（プライマリ ダイヤル エンジンを含む）の dialEngine サブ要素のアトリビュートを設定します。

受信者リストは、外部通知メッセージを受信する必要がある各人のリストを含む .xml ファイルです。



(注) これらの受信者に連絡する外部通知を呼び出すには、受信者リストが存在するサーバの URL を知っている必要があります。

メッセージ ファイルは、パルス符号変調（PCM）形式または CCITT u-Law 形式の .wav ファイルで、受信者に再生する録音メッセージを含んでいます。メッセージは 90 秒以内にするをお勧めします。



(注) このメッセージを再生する外部通知を呼び出すには、メッセージ ファイルが存在するサーバの URL を知っている必要があります。

外部通知アクションは、次のアクションを実行します。

- Cisco IPICS が指定のファイルから取得した電話番号で、多くの外部ユーザを同時に呼び出す。
受信者リストを指定するには、連絡するすべてのユーザの電話番号を含む .xml ファイルを作成します。
- コールに応答した各ユーザに、指定のメッセージを再生する。
メッセージ ファイルを指定するには、受信者に再生するメッセージを含む .wav ファイルを作成します。
外部通知を呼び出すには、適切な専用ダイヤル サーバに HTTP 要求または Common Alerting Protocol (CAP) .xml ファイルを送信します。
- いつでも確認できるログ ファイルに各コールの結果を取り込む。
詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の付録「Using Cisco IPICS for External Notifications」を参照してください。

- Q.** Cisco IPICS がユーザにダイヤルアウトする場合、ディスパッチャは、まだ到達していない番号に関する通知を受けることができますか。また、VTG のすべての参加者に到達するまでにかかる時間を判断する方法はありますか。
- A.** **Policy Execution Status > Executed/Executing Policy** ウィンドウに、ダイヤルされた番号が表示され、どの番号に到達したか、およびどの番号がまだ進行中であるかが示されます。

使用可能な各ポートで、ユーザが数字 ID と PIN を入力して認証を受ける必要があります。その後、通知メッセージが送信されます。エラーが発生すると（誤った数字 ID または PIN の入力や、ユーザに到達しなかったためのタイムアウトの発生など）、ダイヤルアウト通知の完了までにかかる時間が長くなります。ダイヤルアウト通知の合計時間は、これらの要因に依存します。詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Viewing Information about Executing or Executed Policies」の項を参照してください。

- Q.** Cisco IPICS で、実行中のポリシーと実行済みのポリシーの履歴をエクスポートおよび追跡する方法はありますか。
- A.** はい。Cisco IPICS には、実行中のポリシーと実行済みのポリシーの履歴を、ダウンロード可能な Microsoft Excel 形式にエクスポートする機能が備わっています。実行ステータスの履歴をダウンロードするには、**Policy Management > Execution Status** ウィンドウに移動し、**Download Execution Status** ボタンをクリックします。ファイルを開くことも、任意の場所にファイルを保存してから、Microsoft Excel を使用して開くこともできます。詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Viewing Information about Executing or Executed Policies」の項を参照してください。

- Q.** 以前のバージョンの Cisco Unified Communications Manager を実行し、ネイティブ SIP トランクをサポートしない既存のネットワークに、ダイヤルエンジン統合するにはどうすればよいですか。
- A.** このような統合を実現するには、Cisco Unified Communications Manager Express を実行する Cisco IOS ルータを SIP プロバイダーとして使用し、Cisco Unified Communications Manager と SIP プロバイダーの間に H.323 Intercluster Trunk (ICT; クラスタ間トランク) を設定します。詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Configuring and Managing the Cisco IPICS Policy Engine」、および『[Solution Reference Network Design \(SRND\) Guide for Cisco IPICS, Release 2.1\(1\)](#)』を参照してください。
- Q.** IP Phone テキスト通知アクションまたはダイヤル通知アクションを使用するポリシーを実行して、Cisco Unified IP Phone にメッセージを送信する場合に必要な、特別な SIP 設定はありますか。
- A.** はい。**Dial Engine > SIP Configuration** ウィンドウで、Cisco Unified Communications Manager の設定情報を入力する必要があります。詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Configuring and Managing the Cisco IPICS Policy Engine」の章を参照してください。

Push-to-Talk チャネル

- Q.** Push-to-Talk (PTT) チャネルとは何ですか。
- A.** PTT チャネル (チャネルとも呼ばれる) は、ユーザが互いに通信することを可能にする通信パスです。Cisco IPICS では、チャネルは、チャネルの特定のコンテンツ ストリームを、そのコンテンツの送信元に関係なく定義および記述します。

PTT チャネルは、PMC および Cisco Unified IP Phone に表示されます。PMC の詳細については、『[Cisco IPICS PMC Installation and User Guide, Release 2.1\(1\)](#)』を参照してください。



(注) Cisco IPICS では、チャンネルは、無線制御インターフェイス（無線または無線チャンネル）を指すこともあります。これも、オーディオストリームを含みます。詳細については、P.3-5 の「無線の管理」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Managing Radios」を参照してください。

- Q. Cisco IPICS では、1 つのチャンネルを複数のロケーションに割り当てることができますか。
- A. はい。チャンネルは、ロケーション内のマルチキャスト アドレスおよびポートにマッピングされることにより、メディア接続を実現します。複数のロケーションに割り当てられているチャンネルは、複数のメディア接続を持つことができます。Serviceability > Dashboard ウィンドウの Media Connection Count は、メディア接続の総数を示します。詳細については、P.4-2 の「Dashboard ウィンドウでのリアルタイム システム ステータスの表示」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Viewing Information in the Dashboard Window」を参照してください。
- Q. チャンネルに使用されるマルチキャスト IP アドレスを選択する場合に従う必要のあるガイドラインはありますか。
- A. はい。239.192.0.0 ~ 239.251.255.255 の範囲のマルチキャスト IP アドレスだけを設定することを強くお勧めします。詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Guidelines for Using IP Multicast Addresses with Cisco IPICS」を参照してください。



(注) 同じロケーションにある 2 つのチャンネルは、同じマルチキャストアドレスを持つことができません。詳細については、P.2-6 の「ロケーションの概要」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Managing Locations」を参照してください。

無線通信

Q. トーン制御とは何ですか。

A. トーン制御 (*Tone Remote Control (TRC)* と呼ばれる) とは、インバンド トーン シーケンスを使用して、LMR ゲートウェイに接続されている無線 (通常は、ベース ステーション) を制御することを指します。Cisco IPICS では、トーン制御を使用して、さまざまな機能を実行できます。たとえば、チャンネルを別の無線周波数 (RF) に変更またはチューニングしたり、伝送電力レベルを変更したり、無線の組み込み暗号化を有効または無効にしたりできます。TRC は、明確に定義されたオーディオサウンド (トーンとも呼ばれる) を使用して、デバイスの動作を変更します。トーン キーイング無線システムでは、着信アナログ (E リード) ポートに特定のトーンが存在する必要があります。このトーンが存在しない場合、無線は音声を伝送しません。

詳細については、[P.3-5 の「無線の管理」](#)、または『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Managing Radios」の項を参照してください。

Q. トーン シーケンスとは何ですか。

A. Cisco IPICS Administration Console で設定する各無線チャンネルは、1 つ以上の トーン シーケンスで設定できる物理無線を表します。トーン シーケンスは、無線のさまざまなトーンおよび機能を制御します。各 トーン シーケンスには、特定のトーンを生成して無線で特定のアクションを呼び出すために必要な周波数、音量 (電力)、期間、およびその他のパラメータが含まれます。

詳細については、[P.3-5 の「無線の管理」](#)、または『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Managing Radios」の項を参照してください。

- Q.** トーン制御無線は、Cisco IPICS でどのように使用できますか。
- A.** Cisco IPICS は、Cisco IPICS サーバの設定で無線チャネルの定義を有効にし、PMC で 36 チャネルの無線コンソール スキンを実装することにより、トーン制御無線をサポートします。PMC は、RFC 2198 および RFC 2833 のパケットを送信して、チャネルごとにトーン シーケンスを制御します。これらのパケットは、LMR ゲートウェイで、物理無線への設定済み ear and mouth (E&M; 受信と伝送) インターフェイスを介して可聴トーンに変換され、無線のトーン制御を提供します。

詳細については、P.3-5 の「無線の管理」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Managing Radios」の項を参照してください。

- Q.** トーン制御無線のステートフルな制御シーケンスおよび一時的な制御シーケンスとは何ですか。
- A.** Cisco IPICS では、トーン制御無線で次の制御を行うことができます。
- ステートフルな制御：制御機能を個々のチャネル セレクタ ボタンまたはステートフルな制御シーケンスとして PMC に表示できます。ステートフルな制御シーケンスは複数の状態で構成され、各状態は別個のチャネル セレクタ (トーン制御) ボタンとして PMC に表示されます。ステートフルな制御シーケンスの例としては、無線の電力レベルがあります。
 - 一時的な制御：関連付けられているボタンを PMC ユーザが押すと、一時的なトーンの再生が開始されます。ユーザが一時的な制御のボタンを押すと、そのボタンは一瞬の間、押された状態で表示された後、元の状態に戻ります。

Q. ディスクリプタ ファイルとは何ですか。また、ディスクリプタ ファイルは Cisco IPICS でどのように使用されますか。

A. Cisco IPICS には、2つのタイプのディスクリプタ ファイルがあります。

- 無線ディスクリプタ ファイル: 無線ディスクリプタは、無線の機能を制御するために使用されるコマンドを含む .xml ファイルです。このファイルには、無線の周波数を変更するために使用されるチャンネルセレクタ、および無線のステータフルな制御と一時的な制御を可能にする制御機能が含まれています。
- トーンディスクリプタ ファイル: トーンディスクリプタは、コマンド、および1つ以上の Cisco IPICS チャンネルに関連付けることができる無線信号を定義する .xml ファイルです。コマンドはどの無線ディスクリプタからも参照でき、信号はどのチャンネルにも関連付けることができます。

詳細については、[P.3-7](#)の「無線ディスクリプタとトーンディスクリプタの管理」、または『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Managing Radio and Tone Descriptors」の項を参照してください。

VTG

Q. VTG とは何ですか。

A. VTG (仮想トーク グループ) を使用すると、さまざまなチャンネル上の複数の参加者が1つのマルチキャスト アドレスを使用して通信できます。VTG の参加者には、ユーザ、ユーザグループ、チャンネル (PTT および無線)、チャンネルグループ、および他の VTG が含まれます。アクティブな VTG とは、すべての参加者が相互にライブ接続を持つ VTG です。VTG の詳細については、[P.2-8](#)の「VTG の概要」、または『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Performing Cisco IPICS Dispatcher Tasks」を参照してください。

- Q.** 複数のディスパッチャが同時に Cisco IPICS にログインすることはできますか。
- A.** はい。Cisco IPICS では、複数のディスパッチャがシステムに同時にログインできます。このシナリオでは、あるディスパッチャによって VTG にコミットされたユーザ、チャンネル、またはグループが、別のディスパッチャから要求される可能性があるため、ディスパッチャ間の調整が必要になります。Cisco IPICS の ops ビュー機能では、ビューのセグメント化によってこのシナリオをサポートするメカニズムが提供されます。ops ビューでは、ディスパッチャが表示して制御できる VTG 参加者は、そのディスパッチャが属する特定の ops ビューに割り当てられている VTG 参加者だけです。
- Q.** 非アクティブな VTG とアクティブな VTG の違いは何ですか。
- A.** 非アクティブな VTG では、ネットワーク リソースをコミットすることも、進行中の VTG (アクティブな VTG) に影響を与えることもなく、メンバー (ユーザ、チャンネル、および VTG) のさまざまな構成を作成できます。ディスパッチャは、非アクティブな VTG をいつでもアクティブにすることができます。VTG をアクティブにすることで、VTG の参加者が集められ、ライブ会議が開催されます。

非アクティブな VTG を変更した場合は、その VTG をアクティブにするまで、システム リソースでも参加者間の通信でも変更が行われません。アクティブな VTG に変更を加えた場合、その VTG の元のアトリビュート (非アクティブな VTG) は変更されないままです。

VTG に関する情報を表示するには、**VTG Management > Virtual Talk Groups** ウィンドウに表示される VTG 名をクリックします。VTG に関する情報が、別のウィンドウに表示されます。

非アクティブな VTG およびアクティブな VTG の詳細については、[P.2-8 の「VTG の概要」](#)、または『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Performing Cisco IPICS Dispatcher Tasks」を参照してください。

ops ビュー

- Q.** ops ビューとは何ですか。
- A.** ops ビュー（操作ビュー）を使用すると、権限を与えられた Cisco IPICS ユーザが Cisco IPICS Administration Console で表示できるリソースをセグメント化できます。ops ビューでは、組織、会社、部署、管区、地方自治体、サイトなどのさまざまなエンティティを、互いに分離された個別のビューに編成またはセグメント化できます。



(注) ops ビューは、チャンネルおよび VTG が PMC または Cisco Unified IP Phone でのどのように表示されるかに影響しません。

- Q.** ops ビューの *Belongs To* アトリビュートと *Accessible To* アトリビュートの違いは何ですか。
- A.** *Belongs To* アトリビュートでは、リソースが属する ops ビュー、つまり ops ビューが所有するリソースが決まります。新しい ops ビューの作成後、システム管理者はその ops ビューにリソース（チャンネルやユーザなど）を関連付けることができます。オペレータは、その ops ビューに属し、かつその特定の ops ビュー内で表示可能な ops ビュー リソースを管理できる、別のオペレータ ユーザ ID を作成します。

Accessible To アトリビュートは、ops ビューがそのリソースにアクセスできる（そのリソースを表示できる）ことを示します。ユーザは、自分が属する ops ビューがアクセス可能なリソースだけにアクセスできます。ops ビューの詳細については、[P.2-9](#) の「ops ビューの概要」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Configuring and Managing Cisco IPICS Operational Views」を参照してください。

- Q.** SYSTEM ops ビューとは何ですか。
- A.** SYSTEM ops ビューとは、Cisco IPICS サーバがデフォルトで表示する ops ビューです。SYSTEM ops ビューは、Cisco IPICS 管理者が属するホーム ペースつまりシステム全体のビューです。新しい ops ビューを作成すると、SYSTEM ops ビューから新しい ops ビューにポートが再割り当てされます。これは、作成する追加の ops ビューすべてにあてはまります。
- Q.** どの Cisco IPICS ロールが新しい ops ビューを作成できますか。
- A.** システム管理者だけが、サーバに新しい ops ビューを作成できます。作成できる ops ビューの数は、Cisco IPICS のライセンスが提供する ops ビュー ポートの数によって異なります。システム内の ops ビュー ポートの数を表示するには、Administration Console で **Administration > License Management** ウィンドウにアクセスします。ops ビュー ポートの詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Understanding the License Management Window」を参照してください。

新しい ops ビューの作成後、その ops ビューにリソース（チャンネルなど）を関連付けることができます。オペレータは、その ops ビューに属し、かつその特定の ops ビュー内で表示可能な ops ビュー リソースを管理できる、別のオペレータ ユーザを作成します。

リソースが、あるユーザの ops ビューに属する別のリソースを含むか、またはそのようなリソースに関連付けられている場合、そのユーザは、その関連付けられているリソースを削除できませんが、その他の方法でそのリソースを変更できません。ops ビューの詳細については、P.2-9 の「ops ビューの概要」、または『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Configuring and Managing Cisco IPICS Operational Views」を参照してください。

サービサビリティ

- Q.** Cisco IPICS でサービサビリティ情報および診断情報を表示するには、どうすればよいですか。
- A.** Cisco IPICS でシステムのサービサビリティ情報および診断情報をリアルタイムで表示するには、Serviceability 領域に移動してから、次の各ウィンドウに移動できます。
- **Dashboard** : このウィンドウには、Cisco IPICS のシステム情報およびリソース情報が表示されます。詳細については、P.4-2 の「[Dashboard ウィンドウでのリアルタイム システム ステータスの表示](#)」を参照してください。
 - **Diagnostics** : このウィンドウには、Cisco IPICS サーバ、およびサーバと対話する Cisco IPICS システムのコンポーネントに関する概要情報が表示されます。このウィンドウから、診断スクリプトを実行したり、追加の診断情報をダウンロードしたりすることもできます。詳細については、P.4-3 の「[診断情報の表示とダウンロード](#)」を参照してください。
 - **System Logs** : このウィンドウには、Cisco IPICS のロギング情報が表示されます。この情報は、システムのトラブルシューティングやデバッグに役立ちます。詳細については、P.4-6 の「[Cisco IPICS のシステム ログの表示とダウンロード](#)」を参照してください。

Cisco Unified IP Phone

- Q.** Cisco Unified IP Phone のタイムアウト期間を指定して、特定の期間非アクティビティ状態が続くと電話機がタイムアウトするようにできますか。
- A.** はい。**Administration > Options** ウィンドウで Cisco Unified IP Phone Timeout Period の設定値を変更することにより、設定した期間非アクティビティ状態が続くと、IP Phone がタイムアウトしてユーザに再びログインするよう強制するかどうかを指定できます。Cisco IPICS のオプションの詳細については、『[Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1\(1\)](#)』の「Managing Cisco IPICS Options」を参照してください。

- Q.** ユーザがより速く Cisco IPICS サービスにアクセスできるように、IP Phone ユーザのログインをバイパスすることはできますか。
- A.** はい。ログインを要求したくないユーザが存在する場合は、Cisco Unified Communications Manager で、そのような各 IP Phone ユーザのログインをバイパスする別個のサービスを設定できます。

Cisco Unified IP Phone でユーザのログイン クレデンシャルを要求しないように Cisco IPICS サービスを設定した場合、1つのチャンネルまたは VTG だけが割り当てられていると、Cisco IPICS サービスは自動的にそのチャンネルまたは VTG をアクティブにします。

ユーザのログインをバイパスするように Cisco IPICS サービスを設定し、複数のチャンネルまたは VTG が割り当てられている場合、Cisco IPICS は IP Phone にそれらのチャンネルおよび VTG のリストを表示します。

詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の付録「Setting Up and Using a Cisco Unified IP Phone as a Cisco IPICS Push-To-Talk Device」を参照してください。

- Q.** ユーザがチャンネルまたは VTG に接続されているときのメイン画面に Logout ソフトキーが表示されるように IP Phone を設定する方法はありますか。
- A.** はい。一部の IP Phone モデルでは、Cisco IPICS サービスの URL 設定に特別なパラメータを追加して、IP Phone ユーザがチャンネルまたは VTG に接続されているときに Logout ソフトキーを表示できます。

この設定では、ユーザがチャンネルまたは VTG を終了した後、Logout ソフトキーにアクセスするために **Back** ソフトキーを押す必要がないように、Logout ソフトキーを表示できます。



- (注)** このパラメータを設定した場合、電話機モデルの中には、ユーザが **More** ソフトキーを押して **Logout** を表示する必要があるものもあります。

詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の付録「Setting Up and Using a Cisco Unified IP Phone as a Cisco IPICS Push-To-Talk Device」を参照してください。

- Q.** 電話機ユーザが Cisco IPICS サービスにログインしている間に IP Phone が Cisco IPICS サーバへの接続を失っても、IP Phone は機能し続けますか。
- A.** 電話機ユーザが Cisco IPICS サービスにログインしている間に、電話機が Cisco IPICS サーバへの接続を失っても、サービスは現在の状態を保ち、ユーザは現在選択されているチャンネルまたは VTG の PTT 機能を引き続き使用できます。ただし、サーバへの接続が再度確立されるまで、電話機は他のチャンネルにも VTG にも接続できません。
- Q.** Cisco Unified IP Phone で Cisco IPICS サービスを使用する場合に従う必要のあるガイドラインはありますか。
- A.** Cisco Unified IP Phone で Cisco IPICS サービスを使用する場合に注意する必要があるいくつかのガイドラインがあります。次のリストに、それらのガイドラインのいくつかを示します。

- Cisco Unified IP Phone で Cisco IPICS サービスの使用に関するヘルプを表示するには、**Help** ソフトキーを押します。

Cisco IPICS のオペレータは、Cisco IPICS サービスへのログインに使用される数字 ID と数字パスワード (PIN) を設定するか、そのようなログイン クレデンシャルが不要となるようにシステムを設定します。詳細については、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Managing Dial Login Information for a User」を参照してください。

- メニューに表示されるチャンネルおよび VTG は、Cisco IPICS サービスが開始された時点でユーザが使用できるものです。更新されたチャンネル リストを表示するには、**Update** ソフトキーを押します。Cisco IPICS サーバは、チャンネルおよび VTG の情報を電話機に自動的にダウンロードしません。
- Cisco IPICS から Cisco Unified IP Phone に返されるチャンネルは、ユーザの Dial Login タブの Default Location フィールドに定義されているマルチキャスト接続を持つ必要があります。

詳細、および使用上のガイドラインの完全なリストについては、『*Cisco IPICS Server Administration Guide, Release 2.1(1)*』の「Using the Cisco IPICS Service on a Cisco Unified IP Phone」を参照してください。

